

1

現代の文壇
現代の文壇
現代の文壇

(文学部)

解答紙
(4枚のうち1枚目)

受験番号

1

受験番号

(45点)

問1	<p>自分に対する共感を得たい、という思いを募らせるイン タビューの相手の期待に完全に応えるのでも、相手の話 を否定的に判断するのでもなく、技巧的な話し方の背後 にある本当の意図を受け取るために、淡々と相手の話を 聞くという中間的な応対を心がけているということ。</p>
問2	<p>共感への期待をもとにした話の展開に同意を取り付けよ うとするために技巧が生じ、表面的な言葉の意味と、そ の人の本当の意図との間に懸隔が生じる点で、感情豊か な語りと淡々とした語りは類似しているということ。</p>
問3	<p>共感や同意を取り付けようとして話したことの動機を明 らかにし、その背後にある特定の結果への期待と、それ を実現するための技巧の存在を相手に気づかせるため。</p>
問4	<p>期待通りの共感や同意を手に入れることは、その代償と して新しいことが起きることの可能性を喪失し、失望感 を抱かざるをえなくなることを相手に気づかせるため。</p>
問5	<p>自然に接して暮らす人々に欠けているとされる話し方の 「繊細さ」とは、言葉のやり取りによる権力関係を競う 都会人の駆け引きにおいて必要とされる、言葉の微妙な ニュアンスへの感性を指すものにすぎないということ。</p>
問6	<p>「完全に聞く」というのは、話し手の話の要約や解釈を することでも、その話の善悪を判断することでもなく、 話し手が誠実に語り、聞き手もまた相手が自然の一部で あり思いのままにならない存在であるという謙虚さをもつ てその話の背後にある本当の声を傾聴する、という協力を を不断に行っていくことであるということ。</p>

採点

2

現代語学
の
国文学
の
研究

(文学部)

令和7年度入学試験問題
解答紙
(4枚のうち2枚目)

受験番号

2

受験番号

二 (30点)

問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1		
						③	②	①
						いたたまれない気持ち	思いがけないつて	死んでしまったならば
打消の助動詞「ず」の未然形+推量の助動詞「む」の已然形								
体調が悪く命が危ないほどになり、身を寄せている尼寺で死んでしまったら面倒なので、愛宕に近いところに移ろうとしている、ということ。								
自分の乗った牛車の前に行く牛車に、かつての恋人が乗っていることがわかり、きまり悪く思う一方で、再びかつての恋人を見送ることができて、とてもうれしくもしみじみ感慨深くも思われたから。								
						(ア)		
						粗末で頼りなさそうな様子で、時を過ごすのに耐えられそうもない、仮の宿所であること。		
						夜更かしをして語り合える友人もいず、何日経っても訪ねて来る人もいなくて心細い中、法華経の一節を思い、つらいこの世における迷いの心をさますよすがとして、仏道だけを頼りとする思い。		
						(イ)		

採点

3

現代の文壇
言語学
国文学
研究

(文学部)

令和7年度入学試験問題
解答紙
(4枚のうち3枚目)

受験番号

3

受験番号

三 (30点)

問 6	問 5		問 4	問 3		問 2	問 1		
	思ひ川	柴川		2	1		②	①	
<p>枇杷太后宮が、隆家が筑紫に下る際、「涼しきは生の松原」と詠んだ和歌を送ったように、歌人は知識により、実際に行かなくても古歌に詠まれた名所の様子がわかるということ。</p>		<p>樽で聞いたほどではないが、かつて伊勢が和歌に詠んだ通り、絶えず水が流れていて見所も多く、すばらしいという評価。</p>		<p>かつて業平が和歌に詠んだ川としての跡形もなく、水までもすっかり涸れて、旧跡にすぎないという評価。</p>		<p>夢でさえ都からの伝言は聞かず、まして現実でも聞くこともなく、ただ波の音ばかりを聞く、この菊の高浜だよ。</p>		<p>「菊」に「聞く」が掛けられている。</p>	
<p>源氏との戦に敗れた安徳天皇と平家一門の人々が、つらい思いで赤間が関の海に沈み、滅亡した昔のこと。</p>		<p>一晩中少しも眠ることができないで</p>		<p>いつもは水が引いて波も立たずまったくどうしようもありません</p>		<p>源氏との戦に敗れた安徳天皇と平家一門の人々が、つらい思いで赤間が関の海に沈み、滅亡した昔のこと。</p>		<p>一晩中少しも眠ることができないで</p>	

採点

受験番号

受験番号

四 (45点)

問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1	
						(2)	(1)
(イ) (ウ) (キ)	もし	かへざる	ひととなり	孤 当 三 以 書 解 二 玄 徳 一	諸葛瑾は孔明の兄であり、弟の孔明が兄に従うのは道義から考えて順当であるから。	諸葛瑾が主君の孫権を裏切り、親しい人物を介して敵である劉備と通じているといううわさ。	子瑜の孤に負かざるは、猶ほ孤の子瑜に負かざるがごときなり。
		の 交 わ り に 値 す る 人 物 。	諸葛瑾は長年孫権に仕え、肉親のよ		子瑜の言葉は天と地の間に存在する神の心を貫き通すに十分であり、今、うわさされているような、子瑜がひそかにわたしを裏切っているということはあるはずがない。		
		う な 恩 愛 で 孫 権 を 深 く 理 解 し て お り					
		、 道 義 に 外 れ た 言 動 は せ ず 、					
		の 交 わ り に 値 す る 人 物 。					

採点